

## チーム医療：緩和ケアチーム

### —関係部署—

部 署	スタッフ名
緩和ケアチームリーダー 血液内科	福島 健太郎
心療内科	松岡 弘道
麻酔科	米本 紀子
がん性疼痛看護認定看護師	杉野 幸恵
看護局	高島 麻由美 射手矢 奈津子
栄養管理科	住井 諭美 宇野 妙子
薬剤科	中川 直樹 射手矢 弥生 安井 結香里 西村 亜希子 若林 里絵
リハビリテーション科	藤野 文崇 石田 恭子 藤田 将敬

### —概要—

2007年、厚生労働省の定める『がん対策推進基本計画』および2008年、医師に対する緩和ケアの基本的な知識等を習得するための研修会に関する健康局長通知『がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針』、さらに、2012年6月、がん対策推進基本計画では、『拠点病院では、自施設のがん診療に携わる全ての医師が緩和ケア研修を修了することを目標とする。』とされ、さらに「がん診療連携拠点病院の整備について」（2014年1月10日付け健発0110第7号健康局長通知）では、がん診療連携拠点病院の指定要件として、「プログラム」に準拠した「緩和ケア研修会」を定期的実施することが明示されており、緩和ケアはすべての医療従事者に求められる基本的知識とされている。

緩和ケアチームでは、チームリーダー血液内科 福島医師を中心に、心療内科、血液内科および内科医師、がん性疼痛看護認定看護師、および栄養管理科、薬剤科、リハビリテーション科など多職種のスタッフが協力して、院内の緩和ケア推進に努めている。

具体的な活動として、週1回、院内緩和ケアチーム回診を行っている。入院がん患者さんについて、各診療科からの介入依頼をもとに、チームでの多角的なカンファレンスを行い、各病棟スタッフとも連携して回診を行う。身体および精神面から全身を評価し、疼痛をはじめとした身体症状のマネジメントや精神面でのサポートおよびケアについて提案している。

また、外来では心療内科医が、がん患者さんの精神面を

サポートする体制を取っている。さらに、あらたにがん看護外来を開設し、がん性疼痛看護認定看護師である杉野看護師が担当している。

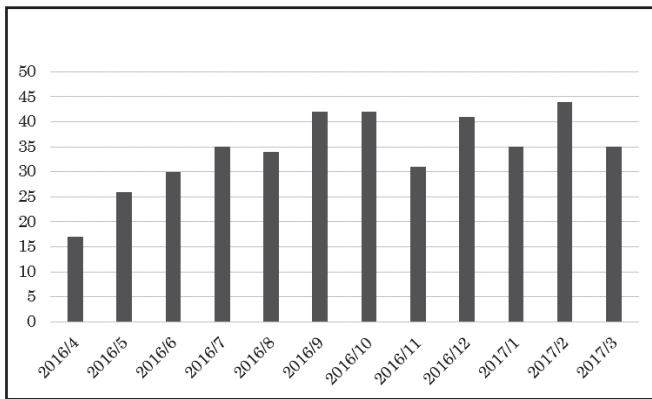
また、緩和ケアに関する啓発・普及にも積極的に取り組んでいる。第一に、大阪府がん診療拠点病院として、年1回、厚生労働省の定める指針に基づき、緩和ケア研修会を開催している。2016年度研修会は院内外より多職種30名が参加し、2日間の日程で行った。第二に、当院独自の取り組みとして、院内外の緩和ケアに携わる多職種を対象にした緩和ケア講演会を年1～2回開催している。

本年度は、緩和ケアに関わる医療者に対する人材養成の推進を目的とした、大阪府の「2016年度緩和ケア人材養成事業の募集」に採択され、2017年3月22日に「緩和ケアスキルアップセミナー」と題し、当チーム主催で研修会・講演会をおこない、院内外より70名余の参加者があり知識を深めた。

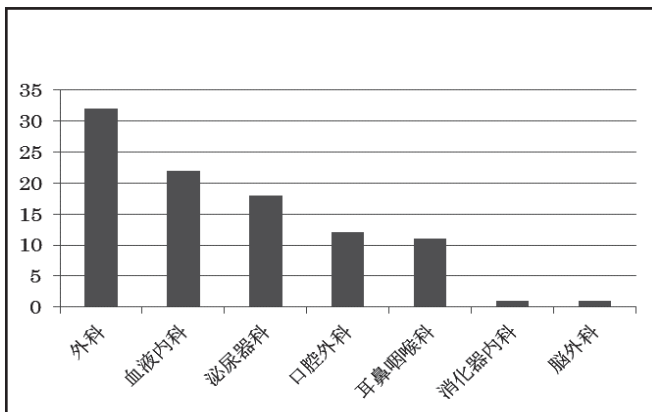
今後は、がん患者さんが少しでも安楽に過ごせるように、院内での緩和ケアを推進し、スタッフの意識向上に努めたい。また、大阪府がん診療拠点病院・急性期病院として地域連携をすすめ、地域の各方面とも関係を構築していきたい。

### —実績—

- 院内緩和ケアチーム回診 1回/週
- 2016年9月28日 第13回 りんくう緩和ケア講演会  
演者:国立がん研究センター 東病院 精神腫瘍科  
先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野  
小川 朝生 先生
- 2017年3月22日  
2016年度大阪府緩和ケア人材育成事業  
緩和ケアスキルアップセミナー『届けたい、患者の声』  
講師:一般社団法人 らふ 代表理事 蓮尾 久美 先生  
【特別講演】  
『せん妄へのチーム・アプローチ』  
講師:国立がん研究センター 東病院 精神腫瘍科  
先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野長  
小川 朝生 先生
- 2016年6月11-12日 第8回りんくう緩和ケア研修会  
企画責任者:りんくう総合医療センター 外科 西谷暁子



2016年度 月次別緩和ケアチーム新規依頼件数



診療科別依頼件数

—今年度の成果と反省点—

院内緩和ケアチーム回診を行い、がん患者さんの苦痛やつらさをサポートし、介入を行った。また、研修会や講演会を通じて院内の緩和ケアに対する意識向上を目指した。スタッフの不足もあり十分なケアができず、今後もスタッフの充実に努めていきたい。

—来年度への抱負—

診療科にかかわらず、がん治療における苦痛やつらさを緩和できるよう、きめ細かく、かつ柔軟に対応できるよう努力していきたいと考えている。さらに、大阪府がん診療拠点病院としてすべてのがん診療に携わる医師が緩和ケアの基本的な知識・技術を習得できるよう、研修会や講習会を企画したいと考えている。

【緩和ケアチーム紹介・回診風景】

